



須崎市では、城山に須崎総合公園整備事業として「憩いの広場」「城山公園」「港の見える広場」の3カ所の緊急避難広場の整備を進めています。

平成23年度から平成24年度にかけ基本計画の策定を行い、平成24年度に地質調査・測量および設計を行いました。平成25年10月に工事着手予定で、平成27年3月末にすべての工事の完成を予定しています。

城山

緊急避難広場の整備

建設課 都市計画係

☎42・1196

整備概要

須崎小学校北側に「憩いの広場」として標高 23~29mの広場を整備します。合計面積は 1,310 m²で、約 655 人が避難可能になります。

次に、NTT西日本北側に「城山公園」として標高 26~39mの広場を整備します。合計面積は1,000 m²で、約500人が避難可能になります。

続いて、原町 2 丁目金毘羅神社北側に「港の見える広場」として標高 24~30mの広場を整備します。合計面積

は1,200 m²で、約 600 人が避難可能になります。

そして「城山公園」と「港の見える広場」を結ぶ連絡道路を標高 30mラインに整備します。道路の幅員は 2.5mを計画しており、これにより広場間のアクセス、日々の維持管理、物資の運搬などが可能になります。また、金毘羅神社ふもとはからは既設避難広場を経て、「城山公園」と「港の見える広場」を結ぶ連絡道路へアクセスできる階段を整備します。

※避難可能人数は、1人あたりに必要な面積を 2 m²として計算。